

7 その他全般的事項

＜仏教学部＞＜歴史学部＞＜文学部 日本文学科＞（通信教育課程）

（１）設置計画変更事項等

【該当なし】

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

- a 委員会の設置状況 教育開発委員会 ※規程は別添
- b 委員会の開催状況 平成21年度年8回開催。教員出席者数180名（延べ）。
- c 委員会の審議事項等
 - ・教育開発に関する事項
 - ・入学前教育の実施・支援に関する事項
 - ・その他、教育開発に関する必要な事項
 - ・教授法開発室の事業に関する事項
 - ・学習支援に関する事項

② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

a 実施内容

- 1) 授業アンケート
- 2) 教員研修会
- 3) FD研究会の開催
- 4) 研修会等への参加
- 5) e-learningの推進

b 実施方法

- 1) 全学規模で実施。対象は全教員（専任・非常勤）。
- 2) 全学規模で実施。FD活動の一環で行なう。
- 3) 事業終了後開催し、成果・課題について検討。
- 4) FD関連の研修会等に参加。
- 5) 教授法開発としてのe-learning利用についての推進。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) 春学期実施教員：専任144名，198科目。非常勤369名，523科目。専任実施率 73.5%。
秋学期実施教員：専任130名，176科目。非常勤331名，486科目。専任実施率 66.7%。
- 2) 授業公開をテーマに開催。参観教員数80名。
- 3) FD研究会を3回開催。
入学前教育，基礎学力調査，初年次教育について各1回づつ開催。
延べ参加教員数：30名。
- 4) 教員参加回数：12回。参加教員数：17名（延べ）。
- 5) 春学期：利用教員30名，63科目。秋学期：利用教員32名，56科目。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- 1) 授業アンケートの集計結果の分析。刊行物にて学内外へ公表。
- 2) 実施内容の検証。刊行物にて学内外へ公表。
- 3) 引き続き発展的に開催する予定。成果は、刊行物にて学内外へ公表。
- 4) 研修会報告を刊行物にて学内外へ公表。
- 5) 実施結果の分析。刊行物により学内外へ公表。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

I. 平成19年7月1日公表 『佛教大学自己点検・評価報告書2006』 大学基準協会相互評価及び認証評価申請用調書
※報告書作成基準日が平成17年度のため、仏教学部・歴史学部・文学部日本文学科の状況は含まれないが、改組前の文学部人文学科の状況が含まれている。

II. 平成22年3月1日公表 『佛教大学教育研究活動年報(2008年度版)』
※毎年度刊行しており、2009年度版から、仏教学部・歴史学部・文学部日本文学科が含まれる。
なお、2009年度版は平成23年3月公表予定。

b 公表方法

I. ホームページ上に公開し、関係機関へ冊子を配布(※大学基準協会からの評価結果を含む)。

II. 大学図書館に配架。

③ 認証評価を受ける計画

・平成18年度に認証評価機関である大学基準協会の相互評価並びに認証評価を受審したが、仏教学部・歴史学部・文学部日本文学科の状況は含まれていない。今後の計画としては、認証評価時の「助言」に対する改善への対応状況を「改善報告書」として、平成22年度7月末までに大学基準協会へ提出する予定である。
また、平成23年度に自己点検・評価結果を取りまとめ、平成24年度に大学基準協会において認証評価を受審する予定である。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表予定時期 (平成 22 年 7 月 1 日)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(未 定)

(別紙)

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成 22 年 4 月に通学課程開設とともに、通信教育課程に仏教学部仏教学科（入学定員 300 名）、文学部日本文学科（入学定員 300 名）、歴史学部歴史学科（入学定員 150 名）および歴史文化学科（入学定員 300 名）を、既設の文学部人文学科からそれぞれ改組開設し、その設置の趣旨・目的を達成すべく学生募集を開始した。

1. 届出申請に基づき、「入学案内」、「入学要項」、学部学科紹介冊子、あるいは大学ホームページ等を通して 4 月入学にむけて学生募集を実施した。「入学要項」の総請求件数としては約 30,000 件以上の依頼があった。現段階で、その請求依頼のうち、仏教学部、文学部日本文学科、歴史学部にかかわる入学志願に関する特定の詳細件数は把握できていない。

2. 学部開設にむけて、通学課程とともに次のようなシンポジウム・講演会を開催した。

2009 年 10 月 10 日に、仏教学部・歴史学部開設、文学部改組の記念シンポジウムを「共育（ともそだち）が人間力を生み出す」というテーマにて開催し、参加者 400 名弱を集めた。

また、2010 年 1 月 23 日に、記念講演会を「知られざる京都の魅力と京都学」というテーマにて開催し、参加者 150 名を集めた。

3. 開設した学部学科の通信教育課程入学志願書受付期間（前期生）は、既存の他学部と同様に、平成 22 年 4 月 10 日までとし、5 月 1 日現在の学生確保の結果は、次表のとおりである。

今年度は後期生の入学志願書受付を、平成 22 年 8 月 20 日から 10 月 10 日まで行う予定である。

学部	学科	入学定員	前期 (4 月 1 日付新入生)	定員充足率
仏教学部	仏教学科	300 名	18 名	6%
文学部	日本文学科	300 名	33 名	11%
歴史学部	歴史学科	150 名	30 名	20%
	歴史文化学科	300 名	15 名	5%

4. 通信教育課程全体の入学動向をみると 1 年次からの入学者は減少傾向が続いている。しかしながら、大学や短期大学を卒業し、さらなる学修を求めて 3 年次より編入学する学生の増加は顕著である。

そうした状況からすれば、開設 3 年目を迎える平成 24 年度の入学者については大幅な増加が期待できる。

5. 開設した学部学科の教育課程の特色を重点に、それぞれに設置趣旨・目的を達成できるような教育環境を充実し、人材育成を果たしていきたいと考える。